

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガイドライン項目		(1) ごはんを中心とした食生活の推進に関する事項						
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> 朝食を欠食する児童生徒を、平成13年度の11.3%から0%を目指す 幼児、児童、生徒の肥満児の割合を、平成15年度の16.7%から7%以下にすることを旨とする 			実績		実績		評価
	<ul style="list-style-type: none"> 目標 平成16年度 16.0% 平成17年度 15.0% 平成18年度 13.4% 平成19年度 11.8% 平成20年度 10.2% 平成21年度 8.6% 平成22年度 7.0% 			<ul style="list-style-type: none"> 実績 15.1% 15.9%(0.8%) 15.8%(△0.1%) 14.6%(△1.2%) 14.8%(0.2%) 13.7%(△1.1%) 		<ul style="list-style-type: none"> ②「肥満状況調査」の結果について、前年度比△1.1%となり、ようやく減少に転じたものの目標値と比べると5ポイント以上の差がある。子どもの肥満は、その食生活に原因があることは明らかであるが、一度身についた習慣を改善することの難しさの表れであると思われる。しかし、将来に向けた健康づくりにとって重要な要素であるので、根気よく取り組む必要がある。 		
		・脂肪や油脂をとりすぎない食生活を目指す						
実施計画	事務事業名		事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当
	①	朝食欠食状況調査の実施	3歳から14歳までを対象に「食生活等状況調査」として実施	年1回実施 対象者1,632人	10	10	②「肥満状況調査」について、3~14歳の子ども1,618人に対して実施。 (①、③はH22年度実施予定)	町民生活課 教育委員会
	②	肥満状況調査の実施						
	③	就寝、起床時間の調査の実施						
	④	朝ごはん標語の看板設置	設置済看板の補修等	随時実施	18	0	補修箇所なし	町民生活課
	⑤	ごはんの大切さ啓発チラシ配布	毎戸配布のほか、スポーツフェスティバルやいのちのまつり等の開催時	年数回実施	200	15	いのちのまつりにおいて、来場者にチラシ(健康食メニュー等の紹介など)配布	町民生活課
	⑥	朝ごはん運動の推進啓発活動	教養講座及び成人式などの開催時	年10回実施	30	18	教養講座 7講座 ことぶき大学の開講式等に啓発活動 成人式にチラシ等を配布	教育委員会
	計				258	43		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善					
ガイドライン項目		(2) 家庭での食に対する理解の促進に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・1日当たりの塩分摂取量を、平成15年度の13.2gから10.0g未満を目指す ・1日当たりの野菜摂取量を、平成14年度の217.3gから350.0g以上を目指す ・毎日1個のりんごを食べる 			<ul style="list-style-type: none"> ・初の試みとして、総合健診受診者に向けての朝食提供を実施したところ、減塩・野菜摂取の食事の見本として好評を得た。40食/日、680食用意したが完売となり、次年度はもっと数を増やしたい考え。 		
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	① 食卓に増やそう野菜減らそう塩分運動の推進	健康食の普及	いのちのまつり及び随時実施	30	24	いのちのまつり来場者約1,300人に、健康食試食提供	町民生活課
	② 町総合健診時の朝食提供	総合健診受診者への、減塩で野菜の多い朝食の提供	健診期間(17日)に実施(40食/日)	75	75	8月19日から健診期間である計17日間にわたり、当初の予定どおり680人に朝食を提供した JAより、鶴の輝き80kgの無償提供を受けた。	町民生活課
	③ 離乳食教室の開催	4か月、7か月、10か月児の母親を対象に実施	各月1回実施	36	30	計画のとおり毎月1回実施	町民生活課
	④ 若いママのための調理実習	乳幼児を持つ母親を対象に実施	年4回	18	24	計画のとおり4回実施(@6,000円×4回)	町民生活課
	⑤ 尿中塩分検査の実施	特定健康診査受診者	実施は2年に1回とした	0	0	次回実施予定H22年度(H20年度実施、平均13.4g)	町民生活課
	計				159	153	

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガイドライン項目		(3)安全な食品を選択するために必要な正しい知識の習得の支援に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		<ul style="list-style-type: none"> ・食生活と栄養に関する学習の場を増やす ・安全な食品に対する情報提供の場を増やす 			<ul style="list-style-type: none"> ・健診率向上町民大会（4月23日）は、鶴遊館ふれあい広場満席の来場者の中開催され、吉田豊先生の健診や健康づくりについて幅広いお話を、多くの町民とともに聞くことができた。 ・地区伝達講習は、4回の開催に止まったものの、一回当たりの参加者が多く、有意義な講習となった。 			
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	① 専門講師による学習会の実施	町民を対象に実施	年1回実施	73	50	・健診率向上町民大会 4月23日 青森県総合健診センター理事長 吉田豊先生講演	町民生活課	
	② 地区伝達講習会の実施	食生活改善推進員による安全な食品及び栄養に関する情報提供	年10回実施	70	63	12月7、8日及び2月12、14日の計4日で、92名参加	町民生活課	
	③ 5 A DAY食育体験ツアー	スーパーマーケットでの買い物体験や食生活指導などによる食育を実施	各小学校で実施	0	0	参加校なし	教育委員会	
	計				143	113		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		2 早寝、早起き運動の推進																																																													
ガイドライン項目		(1)規則正しい生活習慣の促進に関する事項																																																													
ガイ ド ラ イ ン	<ul style="list-style-type: none"> 酒は1日1合程度で週に2日の休肝日を目指す 1日10,000歩のウォーキングを目指す (年齢や健康状態で歩数を個人で調整) 喫煙者の減少を目指す 1年に1回は健康診査の受診を目指す 	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>2006実績</td> <td>県下順位</td> <td>2009までの目標</td> <td>2009実績</td> </tr> <tr> <td>基本健康診査</td> <td>61.5%</td> <td>3</td> <td>85%以上</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>52.4%</td> <td>3</td> <td>73%以上</td> <td>56.7%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>57.9%</td> <td>3</td> <td>83%以上</td> <td>60.4%</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>84.6%</td> <td>1</td> <td>90%以上</td> <td>83.6%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>41.0%</td> <td>3</td> <td>70%以上</td> <td>41.1%</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>50.2%</td> <td>6</td> <td>72%以上</td> <td>50.1%</td> </tr> </table>					2006実績	県下順位	2009までの目標	2009実績	基本健康診査	61.5%	3	85%以上	—	胃がん検診	52.4%	3	73%以上	56.7%	大腸がん検診	57.9%	3	83%以上	60.4%	肺がん検診	84.6%	1	90%以上	83.6%	子宮がん検診	41.0%	3	70%以上	41.1%	乳がん検診	50.2%	6	72%以上	50.1%	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>2008実績</td> <td>県下順位</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>55.9%</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>63.1%</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>81.2%</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>39.4%</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>37.4%</td> <td>4</td> </tr> </table>			2008実績	県下順位	胃がん検診	55.9%	1	大腸がん検診	63.1%	1	肺がん検診	81.2%	1	子宮がん検診	39.4%	3	乳がん検診	37.4%	4	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の2年目で、受診料を無料にし受けやすくしたが、昨年の33.6%に比べ37%(見込み)とわずかに上昇したものの、当面の目標である65%まではまだまだ理解が得られているとは言えない。 各種がん検診については、ゆるやかにではあるが毎年上昇し、2008年の実績において、初めて胃がん、肺がん、大腸がんの3つ揃って、健診率が県内順位1位となった。 	評 価	○
			2006実績	県下順位	2009までの目標	2009実績																																																									
基本健康診査	61.5%	3	85%以上	—																																																											
胃がん検診	52.4%	3	73%以上	56.7%																																																											
大腸がん検診	57.9%	3	83%以上	60.4%																																																											
肺がん検診	84.6%	1	90%以上	83.6%																																																											
子宮がん検診	41.0%	3	70%以上	41.1%																																																											
乳がん検診	50.2%	6	72%以上	50.1%																																																											
	2008実績	県下順位																																																													
胃がん検診	55.9%	1																																																													
大腸がん検診	63.1%	1																																																													
肺がん検診	81.2%	1																																																													
子宮がん検診	39.4%	3																																																													
乳がん検診	37.4%	4																																																													
<ul style="list-style-type: none"> 鶴田町健診率県No.1推進対策委員会の設立と各町内に地区委員会組織の活性化を図り、受診率向上を目指す 十分な休養と睡眠を取りストレスの軽減を目指す 																																																															
実 施 計 画			事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課																																																							
	①	生活習慣病予防学習会の実施	各地区で随時実施	年25回実施	170	49	喫煙予防 940人/8回 健康体操 485人/12回 生活習慣病予防講演会 213人/2回	町民生活課																																																							
	②	健康診査の実施	特定健診	目標受診数 2,500人	14,874	12,167	対象者数4,285人 受診者数1,582人 (36.9%)	町民生活課																																																							
			胃がん検診	目標受診数 1,850人	9,324	9,379	対象者数3,119人 受診者数1,769人 (56.7%)																																																								
			大腸がん検診	目標受診数 1,785人	4,142	4,246	対象者数3,552人 受診者数2,273人 (64.0%)																																																								
			肺がん検診	目標受診数 4,170人	3,595	3,102	対象者数4,293人 受診者数3,590人 (83.6%)																																																								
			子宮がん検診	目標受診数 690人	3,049	3,525	対象者数3,046人 受診者数1,251人 (41.1%)																																																								
		乳がん検診	目標受診数 850人	3,256	4,057	対象者数2,545人 受診者数1,276人 (50.1%)																																																									
	④	地域体験活動事業	ジュニアリーダー研修会で体験学習	年1回実施 参加目標者数40人	76	0	10月10日~11日鱒ヶ沢町長平キャンプ場で1泊2日で開催。20人参加	教育委員会																																																							
			通学合宿で体験学習	年1回実施 参加目標者数25人	80	75	9月29日~10月3日鶴田町公民館に4泊5日で開催。全小学校5・6年生40人参加	教育委員会																																																							
⑤	朝の10分間読書	町内全小中高等学校で実施	毎日実施	1,837	1,837	毎日実施	教育委員会																																																								
		計		40,403	38,437																																																										

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		2 早寝、早起き運動の推進						
ガイドライン項目		(2)就寝及び起床の標準時間に関する事項						
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期 睡眠は、現状が9時間程度であるが、11時間以上を目指す 就寝は、午後8時までを目指す ・学童期低学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後9時までを目指す ・学童期高学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後10時までを目指す ・中学生、高校生 睡眠は、7時間以上を目指す 起床は、朝ごはんの時間を含めた余裕のある起床時間を目指す 			実績			評価	
				<ul style="list-style-type: none"> ・津軽富士見湖桜まつり開会式において、「早寝早起き朝ごはんキャラバン隊」をお招きし、啓発活動を実施した。 ・鶴田町食育と生活リズム推進委員会と学校保健会との共同により、NPO法人企業教育研究会の講師をお招きし、食育コンテンツを利用した学習会を開催した。 ・誕生証書交付式、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診、就学時健診時に啓発活動を実施した。 			△	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	① 就寝、起床時間の調査の実施	全児童、生徒を対象	「食生活等状況調査」と一体的に実施	0	0	次回調査実施予定→H22年度	町民生活課 教育委員会	
	② 早寝、早起き運動の実施	チラシ等による啓発	年3回実施	0	0	入学式 1回実施 PTA集会 1回実施 卒業式 1回実施	教育委員会	
		各小中校の校長、養護教諭、学校職員による児童、生徒への周知	随時実施	0	0	随時実施		
計				0	0			

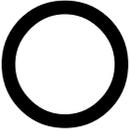
平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガイドライン項目		(1) 農薬等の適正な使用及び管理の徹底に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
	・食用作物等への農薬使用について、農薬登録時に定められた基準である適用作物の単位当たり使用量の最高限度又は希釈倍数の最低限度、使用時期、使用総回数を順守し安全・安心な産地づくりを推進する			・食品衛生法の改正により、平成18年5月29日からポジティブリスト制度が導入されたことから、農薬使用講習会の際に制度の周知と農薬飛散防止技術研修などを開催した。			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	① 農薬使用技術講習会開催	農事振興会及び防除組合等を対象に農薬使用技術講習会を開催し、農薬使用基準の遵守を図る	年1回開催	0	0	JA研修会(共防連現地配布講習) 4月30日 6月12日 7月6日 参加者延べ120人 共防連幹部研修会 7月28日 参加者50人 産直友の会講習会 5月29日 参加者101人	産業観光課
	② ポジティブリスト制度の啓発活動	農薬使用基準等や飛散防止に係わる情報の提供	年1回配布	0	0	『農事普及だより』7回配布 水稻現地講習会 4月23日 7月17日 参加者120人	産業観光課
	計			0	0		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(2) 農産物の生産履歴の記帳に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		・生産履歴の公開と流通情報も組み込んだトレーサビリティ（追跡可能）を図り、消費者の求める表示内容の正確性、信頼性に対応するため生産者は農産物の安全性をアピールし、付加価値を付ける			・農産物の安全性と消費者への信頼性確保のため、トレーサビリティの検討会と「あるじゃ産直友の会」を中心とした生産履歴等の研修会を開催した。			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	トレーサビリティの強化	各関係機関との検討会及び情報交換会の開催	年2回開催	0	0	水稲現地講習会 4月23日 7月17日 参加者120人	産業観光課
	②	農産物等の生産履歴記帳及び適正農業規範（GAP）の推進	研修会等の開催	年1回開催	0	0	あるじゃ産直友の会研修 7月21日 44人参加	産業観光課
	計				0	0		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(3) 食品表示の適正化の推進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
	・農林物資の規格及び品質表示の適正化に関する法律（改正JAS法）のもと有機農産物及び有機農産物加工食品のJAS規格について、生産方法及び表示を明確化することにより信頼性を確保し農産物等の価値を正當に評価される活動を展開する			・消費者への信頼性確保のために、あるじゃ産直友の会で農産物表示の研修会を実施した。				
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	食品表示に関する講習会	各種食品表示に関する講習会への参加	随時	0	0	あるじゃ産直友の会役員等による参加	産業観光課
	②	農産物生産に関する表示適正化	農協やあるじゃ等と連携を図りながら表示に関する指導活動	年2回実施	0	0	あるじゃ産直友の会 5月29日 101人 7月21日 44人	産業観光課
	計				0	0		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガイドライン項目		(4)環境にやさしい安全及び安心な農産物の生産体制の強化に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・特別栽培農産物に対する消費者の信頼確保と生産者の生産意欲向上を図り環境にやさしい農業に取り組む産地を育成する ・土づくり、化学肥料、化学農薬の使用低減を行い持続性の高い農業生産方式の導入を推進する 			<ul style="list-style-type: none"> ・農産物認証制度の認定については、前年度よりも1つ減となった。エコファーマー認定制度については認定切れになった農家については再認定申請の意向があり、手続きしているところである。有機の郷づくりについては認定農業者等協議会が稲わら焼却防止宣言をし、環境保全農業を実施している。 		
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	① 青森県特別栽培農産物認証制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら農産物認証制度への誘導	目標認証農家15戸	0	0	認証9(農家及び法人)	産業観光課
	② エコファーマー認定制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら認定者を増やす	目標認定者150戸	0	0	認定者157戸	産業観光課
	③ 日本一健康な土づくり実践事業	農業生産団体が土づくり等の環境保全農業活動を行う	随時	0	0	認定農業者等協議会が環境保全農業を実施	産業観光課
	計				0	0	

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(5) 食品の安全及び安心に係る消費者への情報提供に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		・農政改革大綱において消費者の視点を重視した食糧政策構築の観点から消費形態の多様化や味、鮮度、健康、安全性に対する事項について情報提供する			・健康や安全性での情報提供については、これまでの活動が広く住民に定着してきたこと、さらには重要または緊急を要するような情報がなかったことから、情報提供の実施をしなかった。			
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	食品の安全及び安心に係る情報	地域住民へ町機関誌並びにチラシやパンフレットなど活用して農産物の安全・安心の理解を求める	随時	0	0	情報提供なし	産業観光課
	計				0	0		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガイドライン項目		(1)地産地消の推進体制の整備に関する事項					
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> 各種農業団体と連携し地場産品の生産振興及び消費拡大を図る 地場産品等の生産振興及び加工品の開発を図る 				実績		評価
					・町のグリーンツーリズムの情報発信拠点施設である「鶴の里あるじゃ」を核として、町内に点在する各観光農園のネットワークを構築し、情報の共有化を実現するために、パンフレットやのぼりを設置した。また、大豆・コメの新商品として鶴田産小麦を使用したパンの製造販売を実施した。		○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	①	地場産品の生産振興の推進と消費拡大	観光農園組織の育成		0	観光関連施設への観光農園パンフレット及び観光農園のぼり設置	産業観光課
	②	大豆・米加工施設の利用促進	利用状況等により新商品開発	随時	0	鶴田産小麦『ゆきちから』を使用したパンの製造・販売	産業観光課
	計				0		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガイドライン項目		(2)町民による鶴田町において生産された農産物（以下「地場産品」という。）の積極的使用に関する事項						
ガイドライン	・マーケティング・リサーチ活動を実施し、地場産品の把握及び販売の強化について方策を立てる			実績			評価	
				・本町産の認証米「鶴の輝き」をはじめ、大豆加工品については店頭販売はもとより、学校給食等への利用など消費の拡大が図られた。			○	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	青森県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」の生産及び消費拡大	当町産の認証米を農協・あるじゃの加工施設で商品化し消費拡大を図る	あるじゃ25,000kg・学校給食15,000kg・町内小売店他9,000kg	0	0	仕入量23,760kg 加工量19,949kg 内訳 学校給食12,469kg 米粉 2,209kg その他 5,271kg 総合健診時の朝食へ提供	産業観光課
	②	転作作物として生産された大豆・小麦加工品の消費拡大	当町産の大豆・小麦をあるじゃ加工施設で商品化し消費拡大を図る	13,000kgをあるじゃ米大豆加工施設で豆腐、テンペ等に加工し販売する	0	0	仕入量13,500kg 加工量11,100kg 内容 学校給食 豆腐 2,807kg 豆腐関連24,024kg 味噌 1,183kg ソフト・シェーク10,177個	産業観光課
				小麦「ゆきちから」6,000kgをあるじゃ大豆米加工施設で加工し販売する	0	0	仕入量26,070kg 加工料 6,000kg 米粉パン、乾麺等に使用	産業観光課
	③	各料理教室の開催	町における料理教室	年10回開催	96	96	全部で12回 鶴田公民館で開催	教育委員会
				年1回開催	22	0	農家女性いきいき講座で豆腐作り（米・大豆加工施設）	産業観光課
	計				118	96		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガイドライン項目		(3)地場産品を使用した学校給食の推進に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
	・安全で安心な地場産品を使用した学校給食を提供するための生産・流通体制の整備を目指す			・一番、納入量が多く見込めるジャガイモの生育が悪く、H20年からの比較では1,201kgから217kgに大幅ダウンした。また、人参と白菜以外も天候不順等が原因で減少した。このような状況から、H20年度と比較して使用量が5,063kgから3,329kgと減少した。体制としては、学校給食応援隊に2名の増員があった。JAつがるにしきた農協鶴翔ぶどう部会からブドウを無償で100kg戴きました。JAつがるにしきた農協鶴翔トマト部会からトマトジュースを5升缶で43缶戴き、応援隊が加工作業をして175kgのトマトケチャップを提供して戴いた。りんごは町民や農業団体から221箱を無償でいただき、11月から翌3月まで学校給食に提供できた。			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	① 学校給食応援隊の活動推進	各農家から直接に地場産品を提供してもらう制度の確立	ジャガイモ、玉ねぎ等 2,500kg	0	0	3,329kg使用。使用量が全品種で減少傾向にある。 会議8回 ジャガイモ 217kg にんじん 151kg 玉ねぎ 606kg 長ねぎ 530kg 大根 409kg 白菜 541kg	教育委員会
	② 学校給食に地場産品の活用	米・ぶどう・トマトケチャップ・りんご等の使用	米を県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」を使用 11月からりんごを提供	0	0	米を研特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」で提供。 りんごも11月から提供。 ぶどう 100kg さくらんぼ 25kg トマトケチャップ 175kg	教育委員会
	計			0	0		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガイドライン項目		(4)町長、関係機関及び関係団体が行う事業における、地場産品の積極的使用に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
		・農業協同組合、あるじゃ、津軽ぶどう協会、各種農業団体等と連携し、地場産品の販路拡大を推進する			・町内外の多くのイベントにおいて賞品及び特産品販売で消費され、地場産品の紹介になった。		
実施	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	① 町内イベントでの地場産品の紹介	さくらまつり、へら鮎釣り大会、つるたまつり（米消費拡大イベント「龍巻寿司」）、農産物展、各種特産市等で紹介・販売	年6回開催	679	563	第4回津軽富士見湖さくらまつり 5月3・4・5日 4日全国へら鮎釣り大会 ・スチューベンジュース 25本 ・鶴の輝き10kg 15袋 ・まっしぐら5kg 20袋 5日カラオケ大会 ・ケルナーワイン 9本 ・スチューベンジュース 4本 ・鶴の輝き10kg 1袋 ・鶴の輝き5kg 1袋 ・つるた煎餅 25袋 北地方産直の日（あるじゃ） 7月19日・9月20日・11月22～23日 龍巻寿司（つるたまつり） 8月14日 農産物展11月14～16日 鶴田中学校部活動支援おにぎり用米50kg提供 鶴田高校スポーツ大会へ鶴の輝きを提供（40kg）	産業観光課
		成人式・実年式・各大会などの記念品、賞品に活用	年3回開催	150	118	成人式 1月3日 実年式 2月11日 スポレクラリー 10月12日体育の日それぞれ実施	教育委員会
		フードリバー市民と親しくする会、新年を祝う会で紹介	年2回実施	549	529	・フードリバー市民と親しくする会総会（4月28日） ・外国青年による津軽弁大会（6月27日） ・新年を祝う会（1月6日）	総務課
計							

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

事務事業名		事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
画	② 町外イベントでの地場産品の紹介	川崎自治会イベント、川崎市民まつりで紹介・販売	年1回参加	175	169	かわさき市民祭り出店 10月30日～11月1日	産業観光課
		ふるさと鶴田会、県庁鶴田会で紹介	年2回実施	397	356	・県庁鶴田会(5月25日) ・ふるさと鶴田会役員会(6月4日) ・ふるさと鶴田会総会(7月5日)	総務課
	計			1,950	1,735		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		5 食育推進の強化						
ガイドライン項目		(1)食に関する様々な体験及び体感による学習の推進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
	・保育所、幼稚園、学校で1年に1回は学習の実施を目指す			<p>・「子どもと一緒にクッキング」は、子ども達自ら料理をすることで、朝ごはんの意義や食の大切さを身を持って体験できる良い機会となっている。</p>			○	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	子どもと一緒にクッキング	各小学校を対象に、朝ごはん作りの体験教室を実施	各小学校1回実施	100	79	各小学校1回ずつ開催	町民生活課
	②	朝ごはん運動推進体験学習の実施(教育ファームの推進)	農業者の指導を受けながら農作業を体験	米づくり(4校) りんごづくり(4校) 野菜づくり(6校)	0	0	米づくり(4校) りんごづくり(4校) 野菜づくり(6校)	教育委員会
	③	地域子ども教室推進事業	各小学校を対象に親子料理教室「キッズインザキッチン」の実施	全小学校	300	298	10月3校・12月1校	教育委員会
	計				400	377		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		5 食育推進の強化					
ガイドライン項目		(2)教育関係者の食育学習の推進に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
		・1年に1回は学校保健会などが中心となり食育学習等の実施を目指す			<ul style="list-style-type: none"> ・鶴田町食育と生活リズム推進委員会を組織し、年2回実施。 ・鶴田町食育と生活リズム推進委員会と学校保健会との共同により、NPO法人企業教育研究会の講師をお招きし、食育コンテンツを利用した学習会を開催した。 		
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	① 食と栄養に関する学習会の実施	各小学校の教育関係者を対象	年6回実施	0	0	年2回実施 栄養教諭の食育授業	教育委員会
	計			0	0		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		5 食育推進の強化					
ガイドライン項目		(3) 学校給食を通じた食育の推進に関する事項					
ガイドライン				実績		評価	
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食に関する理解の促進と町の特色を生かした給食の提供を目指す 			<ul style="list-style-type: none"> ・郷土食と行事食を13回実施。学校給食応援隊と連携し地元食材を使用している。 ・地元食材を活用した食に関する指導を実施した。 ・郷土料理や行事食を取り入れた献立の実施（けの汁、子和え等） ・昔から受け継がれた津軽の郷土料理 <ul style="list-style-type: none"> 4月－入学進級お祝い（お祝いクレープ） 5月－子どもの日（柏餅） 6月－虫歯予防週間（噛み噛み昆布） 7月－七夕（七夕ゼリー、サクランボ） 9月－十五夜（十五夜ゼリー） 10月－ハロウィン（かぼちゃプリン） 11月－ふるさと産品の日（ブドウ、テンペ入りごはん） 12月－クリスマス（チョコレートムース） 1月－正月（紅白ゼリー、けの汁・子和え） 2月－旧正月（じゃっば汁） 3月－雛祭り（桜餅） 卒業（卒業祝いクレープ） ・11月に菖蒲川小学校において生徒と生産者が顔の見える「給食交流会」を開催した。 		○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	① 学校給食で郷土食、行事食メニューなどの実施	各小中学校を対象	年12回実施	0	0	郷土食と行事食を13回実施 学校給食応援隊との給食交流会	教育委員会
	計			0	0		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		5 食育推進の強化					
ガイドライン項目		(4)国際交流による食育の推進に関する事項					
ガイドライン					実績		評価
		・外国の食文化を体験及び学ぶことで、米食文化の再認識を目指す				中学生大使のフッドリバー訪問時における事前のテーブルマナーにおいて、保護者同席参加による外国食文化を体験。	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	① 姉妹都市フッドリバー中学生親善訪問事業	外国の食生活を学ぶ	年1回実施 参加人員20人	2,200	1,943	フッドリバー訪問人員19人、テーブルマナー参加者37人	教育委員会
	計			2,200	1,943		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		6 米文化の継承						
ガイドライン項目		(1)米の生産者と消費者との交流の促進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		・生産者と消費者との情報交流の場の設定を目指す			川崎市のイベント、さらにはあるじゃでの「北地方産直の日」において農産物等の販売で消費者との交流を深めた。			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	町内外のイベントで地域産農産物等の紹介	各地で行われる特産品紹介イベント等に積極的参加	随時実施	0	0	かわさき市民祭り出店 10月30日～11月1日	産業観光課
	②	道の駅を中心とした情報交流の場の開催	農協及び農業団体が連携して消費者と交流	年3回開催	0	0	北地方産直の日(あるじゃ) 7月19日 9月20日 11月22～23日	産業観光課
	計				0	0		

平成21年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		6 米文化の継承					
ガイドライン項目		(2)伝統的な米文化の継承の推進に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な行事と結びついた米文化の知識や農具・器具等の伝承を目指す ・地域における伝統的な米食文化の継承を目指す 			川崎市京町小での田植え体験では、5年生100人以上の参加による田植えと稲の育て方について学習をし、おコメへの関心を抱くなど好評であった。		
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	① 米文化の伝承事業	米づくり体験、餅つき大会の実施	4小学校(鶴田小・菖蒲川小・梅沢小・胡桃館小)川崎京町小(学校田体験学習)田んぼの学校の開催	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴田小 三世代ふれあいまつり 9月26日 ・菖蒲川小 三世代交流もちつき大会 12月20日 ・梅沢小 防犯もちつき大会 11月20日 ・胡桃館小 くるみふれあいまつり 12月22日 	教育委員会
				272	131	<ul style="list-style-type: none"> 川崎京町小 田植え体験 6月5日 田んぼの学校 5月23日 田植え 8月10日 かかし作り 10月3日 稲刈り 	産業観光課
	② 歴史文化の伝承事業	米料理や伝統料理を継承、昔の農具の展示	鶴田町歴史文化伝承館の活用	631	320	館内外の整理・清掃・草刈り・樹木の選定作業を実施	教育委員会
	計				911	451	

合計	46,542	43,348
----	--------	--------